

2020年度通常公募_団体情報シート			
団体名	公益財団法人パブリックリソース財団		団体web サイトURL http://www.public.or.jp
申請事業名		申請受付番号	2043
主題	困難を抱える子どもの学びの場と居場所創造		申請事業の分類 ① ①草の根活動支援事業
副題	学びの場と居場所を創出し充実するための中間支援機能の強化		申請事業の分類 ② ①-1 全国ブロック 申請事業の分類 ③ -
優先すべき社会の諸課題選択科目			
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動		領域②
分野①			分野②
①	経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	-	-
②	日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	-	-
-	-	-	-
領域③			領域④
分野③			分野④
-	-	-	-

申請事業概要	
<p>困難を抱える子どもに関わる中間支援組織に対して、伴走支援しながら、組織診断及び組織基盤強化、環境整備、新規事業開発を行う。①組織基盤強化等の前提としての組織診断や改善計画策定 a組織や環境に関する診断、b組織強化・環境整備計画策定、cビジョン・戦略、事業の点検、d改善計画策定を、委託した外部人材と事務局の支援のもとで実施。②組織基盤強化等のための支援 ◆前半期：主に組織基盤強化に重点を置く。組織安定のために助成金により中核人材を配置し、人的基盤、財政的基盤（ファンドレイジング力向上）等の強化を図る。必要に応じてコンサルタントを委託する。◆後半期：企業や行政との連携などの環境整備とともに、現場団体への支援機能強化のための新規事業開発及びモデル事業実施を重点とする。委託した専門家と事務局が支援する。必要に応じてコンサルタントを委託する。新規事業開発では、現場団体への支援としてa新規事業所開設、b経営指導、cスタッフ教育、d教材開発、e現場団体の質の評価などの新規事業開発・モデル実施に取り組む。③事務局が進捗管理等及びアドバイスをを行う。④事業終盤期では、事務局が次の段階への展開方向の確認を行う。</p>	

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2013/3/6
	法人格取得年月日	2013/1/17
2	●団体概要	
	団体概要	寄付者の志をしっかりと聴くことを原点到、寄付金を活用した、助成事業の実施にあたっては、資金を提供するだけでなく、組織診断、メンター派遣、テクニカルアシスタンス、マネジメントコンサルティングなど各種の非資金的支援を併行して実施することで、インパクトを高めることを目指している。また成果評価にもSROIなど様々な手法で取り組み、寄付者に対して寄付の「手ごたえ」を感じてもらおうことを目指している。
3	●代表者情報	
	代表者名	久住 剛
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	岸本 幸子
	代表者の役職 2	専務理事
4	●役員	
	役員の数	21人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の数	2人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	15人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	1人
	常勤・有給・無期	12人
	常勤・無給(有期・無期)	1人
	非常勤・有給・有期	1人
	非常勤・有給・無期	0人
非常勤・無給(有期・無期)	0人	
	事務局体制の備考	特になし
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	上記主要助成だけで172団体

2	前年度の助成総額 (円)	財団全体の助成総額 219,735,287円
3	助成事業の実績内容	
	<p>弊財団は多数の助成プログラムがあるが、ここでは主要な「基金による助成事業」についてのみ記載する。「ふくしま未来基金」 未来づくり助成 は福島未来を支える中核的な団体への2か年継続助成で300万円の助成+50万円分のコンサルタント委託費用の支援。 まちづくり草の根助成 は心と生活の復興に貢献する活動への助成で100万円の助成。各団体に対してロジックモデル作成、組織診断の実施、定期的な現場訪問・アドバイスなどの伴走支援を実施。2015年～2019年助成総額86,645,860円、延べ85団体。 キャノンマーケティングの「未来につなぐふるさと基金」は生物多様性の保全・啓発に市民参加型で取り組む活動団体に助成し、2015年～2019年助成総額40,757,423円、延べ66団体。参加型プログラムに参加したボランティア5,574人。大和証券グループの「輝く未来へ こども応援基金」は、貧困状況にある子どもの環境改善や貧困の連鎖を防止することを目的に、子どもの支援するチャレンジングな仕組みづくりに対し、事業を持続可能にする「事業開発段階」を支援するユニークな助成。2017年～2019年の実績は助成総額39,950,000円 延べ15団体。女性支援に特化した「あい基金」は、寄付者参加の公開プレゼンを経て、東北被災地で女性の就業の場づくりを行う団体に助成。助成団体を定期的に訪問し相談や助言の伴走支援を実施。団体の活動現場ツアーも開催。2016年～2019年の実績は助成総額4,300,000円、延べ7団体。ゴールドマン・サックス基金では、子どもの貧困問題に取り組む団体を支援。2019年度は、Give One登録団体の中から、NPO法人「Learning for All (LFA)」同団体が展開する学習支援などのプログラム開発を支援するため2019年は助成金107,520,398円を支出した。</p>	

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり